

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	母子健康診査事業			会計	款	項	目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民（妊婦・乳幼児とその保護者）	意図	子どもを安心して産み、健やかに育てることができる。
事業内容	1. 集団健康診査（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査） 2. 医療機関委託健康診査（妊婦一般健康診査・乳児一般健康診査、3か月児健康診査）を通して、妊娠、出産、育児という一連の流れの中で、母子保健の推進向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和53年10月から1歳6か月児健康診査、平成9年から3歳児健康診査を実施。妊婦・乳児一般健康診査（医療機関委託）は県内医療機関（千葉県医師会）及び県外医療機関と契約し、妊娠中14回、乳児期2回を実施。3か月児健康診査は市内契約医療機関において個別健診を実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	1歳6か月、3歳児健診受診率	96.50	97.10	97.30	%	↑↑↑
②	3か月児健康診査受診率	91.90	94.30	95	%	↑↑↑	3か月児受診者数/対象者×100
③	妊婦一般健康診査受診率	101.30	99.60	96.90	%	↑↑↑	(健診受診回数÷12)/対象者×100※ 1人平均受診回数12回
④	乳児一般健康診査受診率	82.50	89.50	89.30	%	↑↑↑	(乳児健診受診者数÷2)/対象者×100
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	健診後のフォローを随時、保健師・栄養士・歯科衛生士等、各専門職が連携し家庭訪問・電話・面接等を実施しており、安心・安全に繋がっている。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 1歳6か月児・3歳児健診の対象者は増加しているが、転入者への健診案内の工夫、未受診者への受診勧奨通知、電話や訪問など丁寧な勧奨を行なった為、高い受診率を維持している。また未受診者情報を他課と共有し、休日の再訪問を実施する等、未受診者の把握に努め、虐待予防に繋がっている。妊婦健診や3か月児健診は安心・安全な妊娠、出産、育児に繋がる大切な健診である為、訪問時等での受診勧奨を行い、受診率の増加に繋げる。引き続き各種健診の受診率向上に努める。
--------------------	---	--

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	261,319,628	282,345,586	303,816,735
事業費(b)(円)	216,675,628	229,668,286	255,064,335
うち一般財源	216,675,628	229,668,286	255,064,335
職員給与費(c)(円)	44,644,000	52,677,300	48,752,400
人役・職員(人)	3.60	4.20	4.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	16.00	19.70	18.00
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
						コストの削減
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	対象者の増加により従来の集団健診の実施方法では限界に近づいているため健診の質の向上、時間の短縮を含め、集団健診全体の改革を行う。	③取組の課題	対象者の増加により、集団健診に要する時間増の保護者への負担、会場の安全確保、小児科全員診察の実施、すでに全員診察を行っている歯科医師への負担増が課題である。
②今年度(H29)に実施した取組	流山市医師会の小児科医師と集団健診のながれ及び小児科診察のあり方等について検討会を5回開催した。	④今後(H30以降)の改善計画	毎月2回実施している集団健診の実施方法及び実施回数等の大幅な見直しを行い、30年度から実施する。